



水の恵みが育てた愛知の農業

愛知県では、木曾川・矢作川・豊川という3つの大きな川の豊かな水を利用して、用水をひらく努力が長い間続けられてきました。明治13年に矢作川を水源とする明治用水が、昭和36年に「夢の用水」といわれた木曾川を水源とする愛知用水が、昭和43年に豊川を水源とする豊川用水が完成しました。これらの用水は、平野部はもちろん、深刻な水不足に悩まされていた知多半島や渥美半島の先端まで農業用水を導きました。用水の完成により、全ての平野部に水が行き渡り、愛知県の農業は飛躍的な近代化を遂げ、施設園芸を筆頭に全国屈指の農業地帯が形成されました。

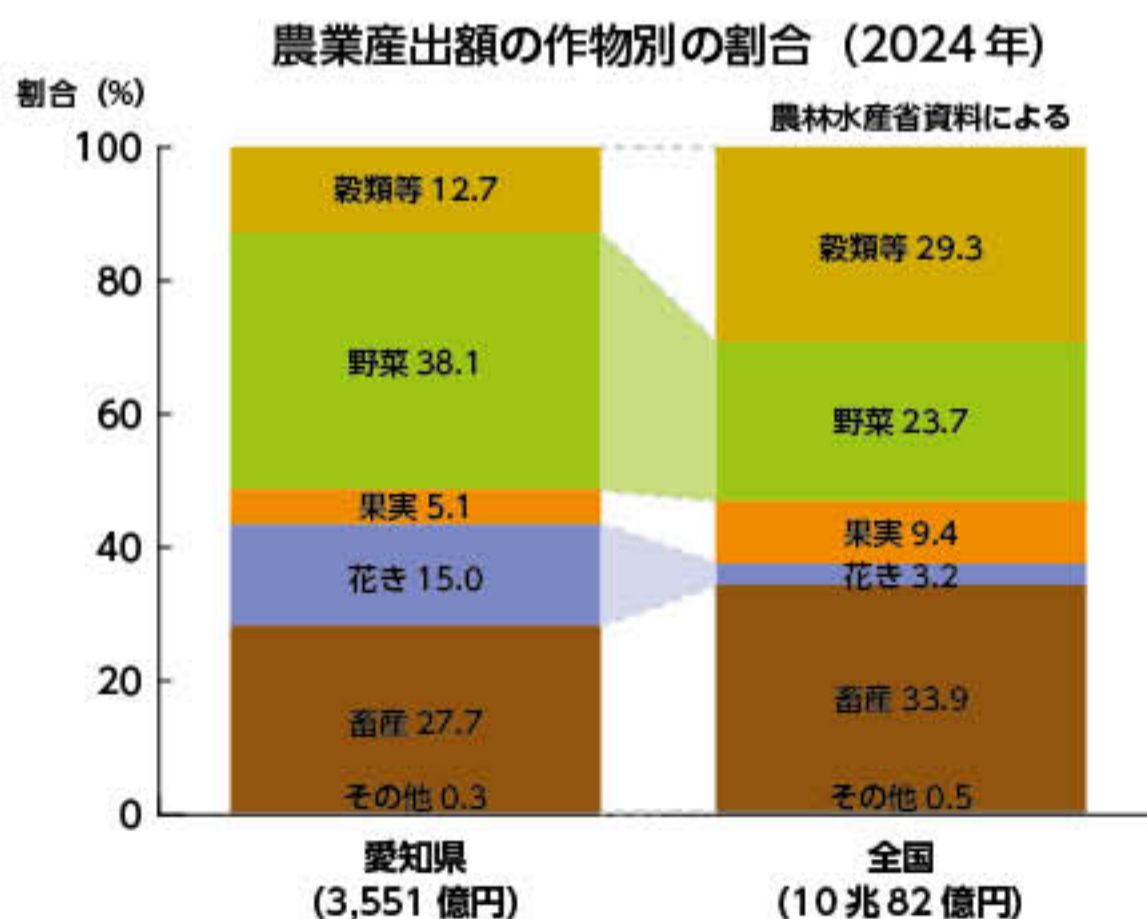


愛知県は、大消費地名古屋と首都圏、阪神圏の3大市場を近くに持つとともに、太平洋ベルト地帯に沿って交通・情報網の発達した地域です。

愛知県は、自動車産業を中心とした工業県のイメージが強くありますが、農業においても全国有数の地域であり、産出額が毎年トップ10に入るほどの農業県です。

施設園芸に代表されるように、1戸当たり耕地面積は小さいものの販売金額が大きいこと、土地生産性が高いことが特色となっています。

愛知の農業全体の産出額は中部エリアで1位



※ラウンドの関係で合計が一致しません。

農業産出額の部門別構成比をみると、愛知県は野菜・果物・花きといった「園芸品目」の占める割合が58.2%と、上位8道県の中で最も多くなっています (令和6年)。

このほか、ブランド肉「みかわ牛」や「あいち牛」、「みかわポーク」、「ぶたミン」を生み出した畜産や、安全・安心なお米づくりを実践する稲作などもバランスよく生産しており、品目・品種共に多様であることがあいち産の特徴です。

愛知県の特産物 (2024年)

出荷量と全国シェア

※花きは産出額ベース



大葉

51.5% 3,990t※



ふき

42.6% 2,290t



ぎんなん

35.5% 139t※



キャベツ

17.8% 209,600t



とうがん

17.2% 1,320t※



いちじく

16.2% 1,219t※



みつば

13.4% 1,620t



さやえんどう

10.2% 1,280t



トマト

(加工・ミニトマト含む)

7.0% 42,500t



セルリー

8.9% 2,460t



イチゴ

6.8% 9,930t



れんこん

6.2% 2,710t



小麦

3.3% 35,000t



カリフラワー

9.2% 1,540t



ブロッコリー

7.0% 10,200t



玉ねぎ

2.1% 21,000t



なす

5.2% 11,800t



チンゲンサイ

4.8% 1,640t



かき

5.4% 7,790t



白菜

2.0% 14,100t



観葉植物(鉢)

43.8%, 78億円



菊

37.8%, 210億円



バラ

15.5%, 24億円



洋ラン(鉢)

13.6%, 44億円



シクラメン(鉢)

10.4%, 7億円



カーネーション

16.8%, 16億円

資料提供：愛知県農業水産局

※大葉・とうがんは2022年のデータ

※いちじく・ぎんなんは2023年のデータ

愛知県のJAと特産物

愛知県のJA・本会の主な取扱品目



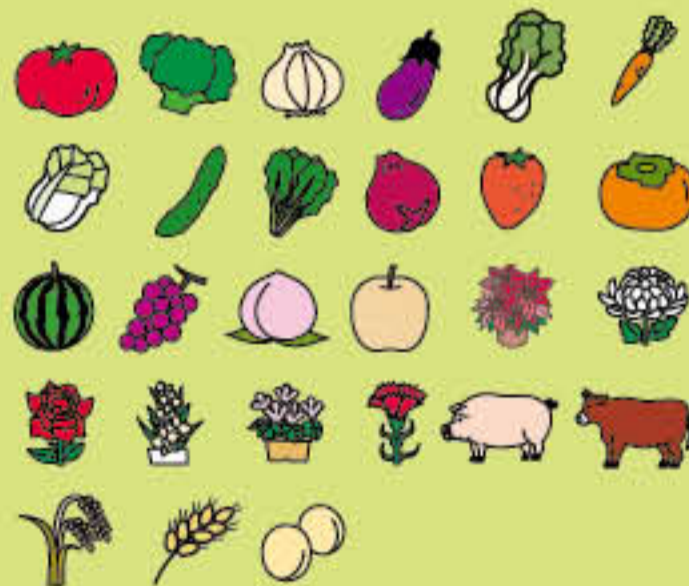
尾張地区

なごや・天白信用・緑信用・あいち尾東・尾張中央・西春日井・あいち知多・愛知北・愛知西・あいち海部



西三河地区

あいち中央・西三河・あいち三河・あいち豊田



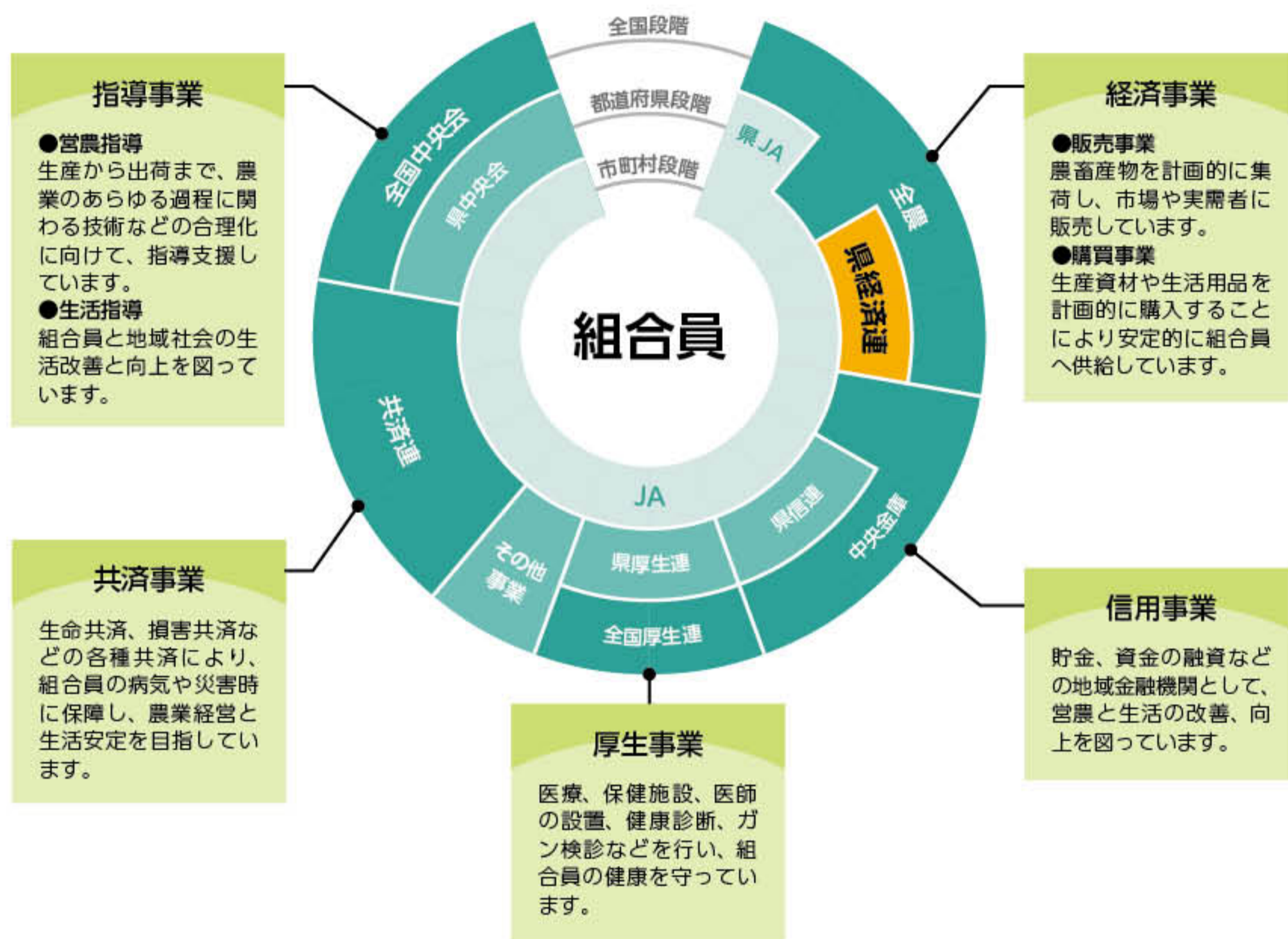
東三河地区

愛知東・ひまわり・蒲郡市・愛知みなみ・豊橋



JAグループとは

JA (Japan Agricultural Cooperatives) グループは、相互扶助の精神のもとに農家（組合員）の営農と生活を守り高め、豊かな社会を築くことを目的として組織された協同組合組織です。



JA綱領 —わたしたちJAのめざすもの—

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

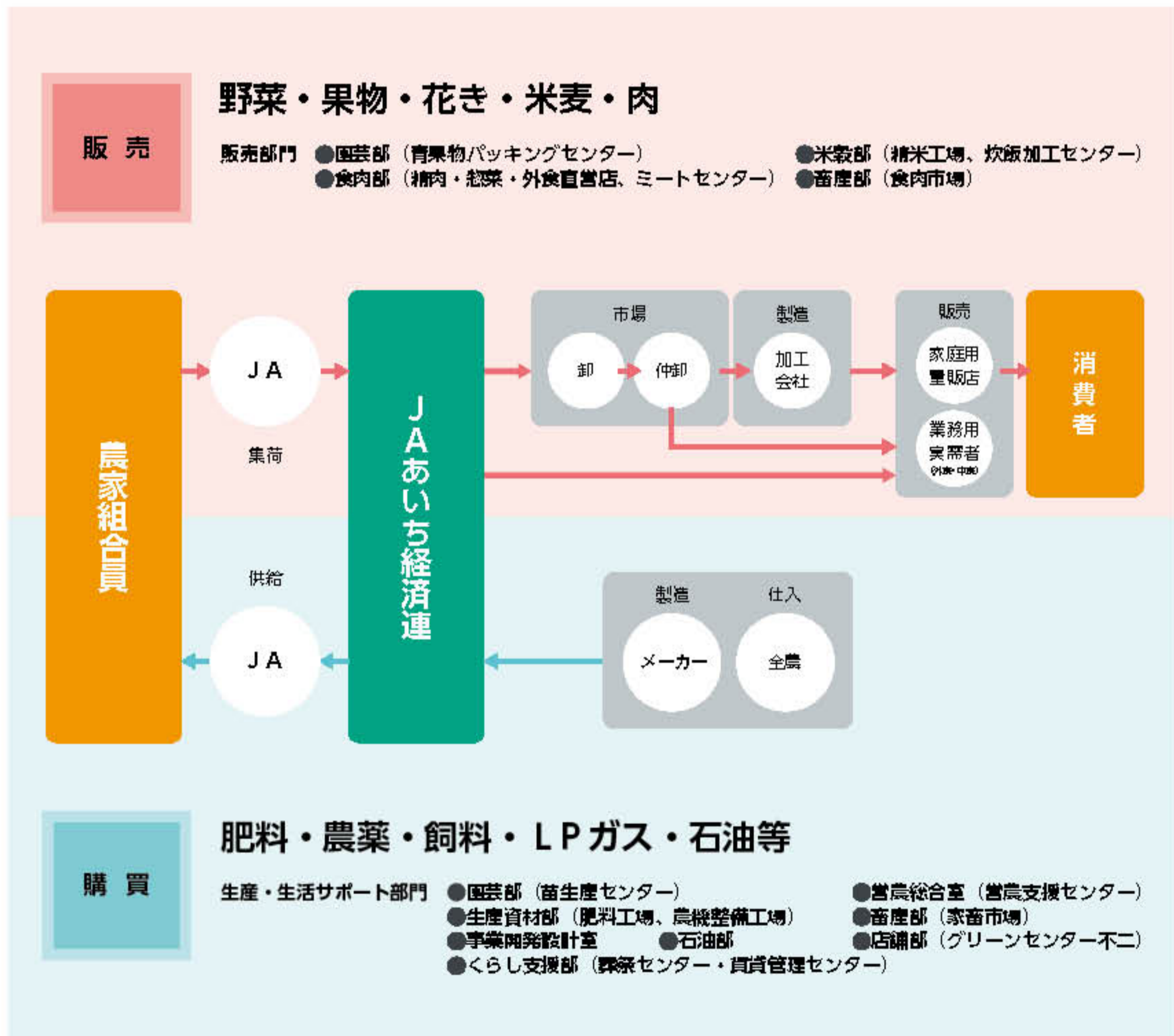
わたしたちは

- 一. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。



JAあいち経済連の役割

私たちは、愛知県産農畜産物の「生産支援、集荷、加工、販売」により農家組合員の生活を支えるとともに、安全・安心で魅力のある農畜産物を安定的に供給することで、消費者の暮らしに貢献しています。



私たちは、農家組合員のことばに耳を傾け、JAと信頼関係を結びながら計画的に集荷し、安定的な出荷を目指します。その過程では、多くの流通業者や小売事業者と協力しながら、愛知県はもとより日本中の食卓に農家組合員が大切に育てた野菜、花き、米、畜産物などをお届けしています。

農家組合員の生産現場と日常の生活をサポートする部門、また実需者への販売を担う部門が、JAとともにいろいろな取引先の人たちと仕事を通じてつながり、たくさんの人に笑顔と健康を届けたいと励んでいます。

JAあいち経済連は「愛知県経済農業協同組合連合会」の略称・呼称です。

農業と生活のかけはし

理 念

JAあいち経済連はJAと一体となって総合力と専門性を発揮し、愛知県農業の発展と組合員のくらしの向上に貢献します。

私たちがめざすこと

1. 農家組合員の経営安定
2. 実需者・消費者に対する愛知県産農畜産物の安全・安心・新鮮の提供
3. 魅力ある商品・サービスの提供による豊かな地域社会への貢献

経営基本姿勢

1. **利用者満足の追求**
私たちは、事業価値の創造を通じて、組合員、会員JA、実需者・消費者など全ての利用者の満足高めることを最優先にします。
2. **社会的責任の重視**
私たちは、倫理徹底、法令順守、環境保全などの社会的な責任を果たします。
3. **説明責任の遂行**
私たちは、事業活動の基準を明らかにし、確実な記録と適切な情報開示を行うことにより、透明性の高い事業運営を行います。
4. **ビジョンの明確化**
経営層は、ビジョン・方針を示し、迅速な意思決定のもと、組織を適切に導きます。
5. **継続的改善・革新**
私たちは、組織の強み・弱みを認識し、事業環境の変化に適応した改善・革新を続けます。
6. **全体最適の実現**
私たちは、事業個別の部分的な課題達成にとどまらず、組織全体ならびに生産から消費にわたる流通全体の最適化を追求します。
7. **事実に基づく管理**
私たちは、事実の正確な把握、情報の共有、事実に基づく分析評価、論理的思考を重視します。
8. **働きがいのある職場づくり**
本会は、従業員の多様性・人格・個性を尊重し、自己実現のできる職場環境を確保します。

第17回愛知県JA大会 3つの基本方向

1. 県産農畜産物の安定供給と農業者に魅力ある地域農業を実現します
2. 組合員が「幸福」を感じるくらしを実現します
3. 地域農業とくらしを支えるJA経営を実践します

第19次中期事業計画基本方針

JAあいち経済連は、JAと一体となって5つの基本方針に基づく施策を実践することで、愛知県JA大会決議の3つの基本方向を実現します。

1. 愛知県産農畜産物の販売力強化
2. 生産性向上とコスト低減による生産支援の強化
3. 組合員・地域利用者との接点強化および困りごとを解決する生活事業の総合提案
4. JAグループ愛知の経済事業における合理化・効率化
5. 本会における事業運営の高度化

概要 沿革

正式名称 愛知県経済農業協同組合連合会
 設立年月日 昭和23年8月12日
 会員数 35（正会員26、准会員9）
 出資金 55億3,324万円
 役員数 経営管理委員13名
 理事5名
 監事4名
 従業員数 職員572名
 雇員・パート822名
 取扱高 3,228億円（令和7年度）

令和8年4月1日現在

前身 昭和5年 愛知県販売購買組合連合会を設立
 15年 利用事業を開始
 17年 信連と合併し愛知県信用販売購買利用組合連合会と改称
 18年 愛知県農業会を設立（農業関係団体の統合）
 23年 愛知県農業会を解散
 販売、購買各連合会を設立
 26年 販売、購買各連合会を合併して愛知県販売購買農業協同組合連合会を設立（農水省認可昭和27年1月4日）
 40年 愛知県経済農業協同組合連合会と改称
 53年 愛知県園芸農業協同組合連合会と合併現在に至る

役員

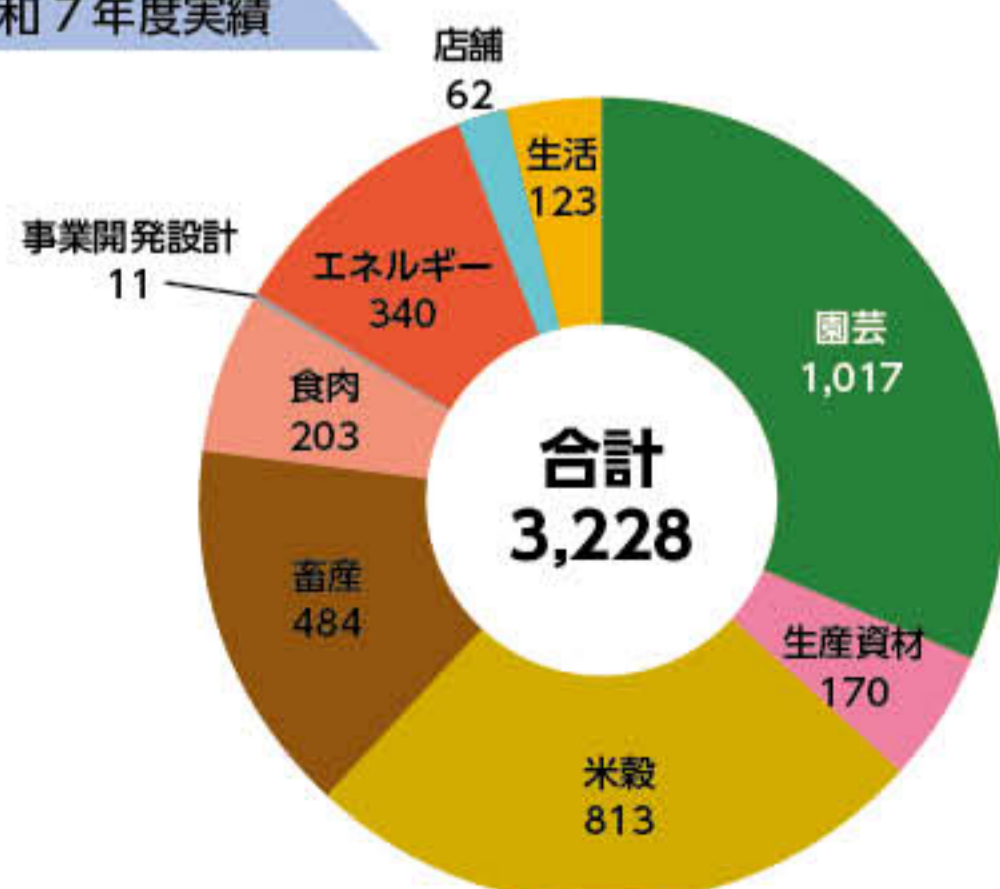
経営管理委員会会長 平野 和 実（あいち海部）
 経営管理委員 長谷川 浩 敏（尾張中央）
 // 鈴木 茂 正（蒲郡市）
 // 海野 文 貴（愛知東）
 // 山口 義 博（なごや）
 // 齋藤 種 治（西三河）
 // 大藪 泉（愛知北）
 // 鈴木 照 彦（愛知みなみ）
 // 山本 和 孝（あいち知多）
 // 伊藤 友 之（豊橋）
 // 吉田 明（愛知西）
 // 石川 尚 人（あいち豊田）
 // 渥 美 純 一（あいち中央）

代表監事 市川 耕 一（あいち尾東）
 常勤監事 鈴木 忍（学識経験）
 監事 大竹 博 久（あいち三河）
 // 都 築 紀 理（学識経験）
 代表理事 田中 徹（学識経験）
 代表理事 河合 成 典（学識経験）
 常務理事 河野 宏 和（学識経験）
 // 中野 修（学識経験）
 // 種田 博（学識経験）

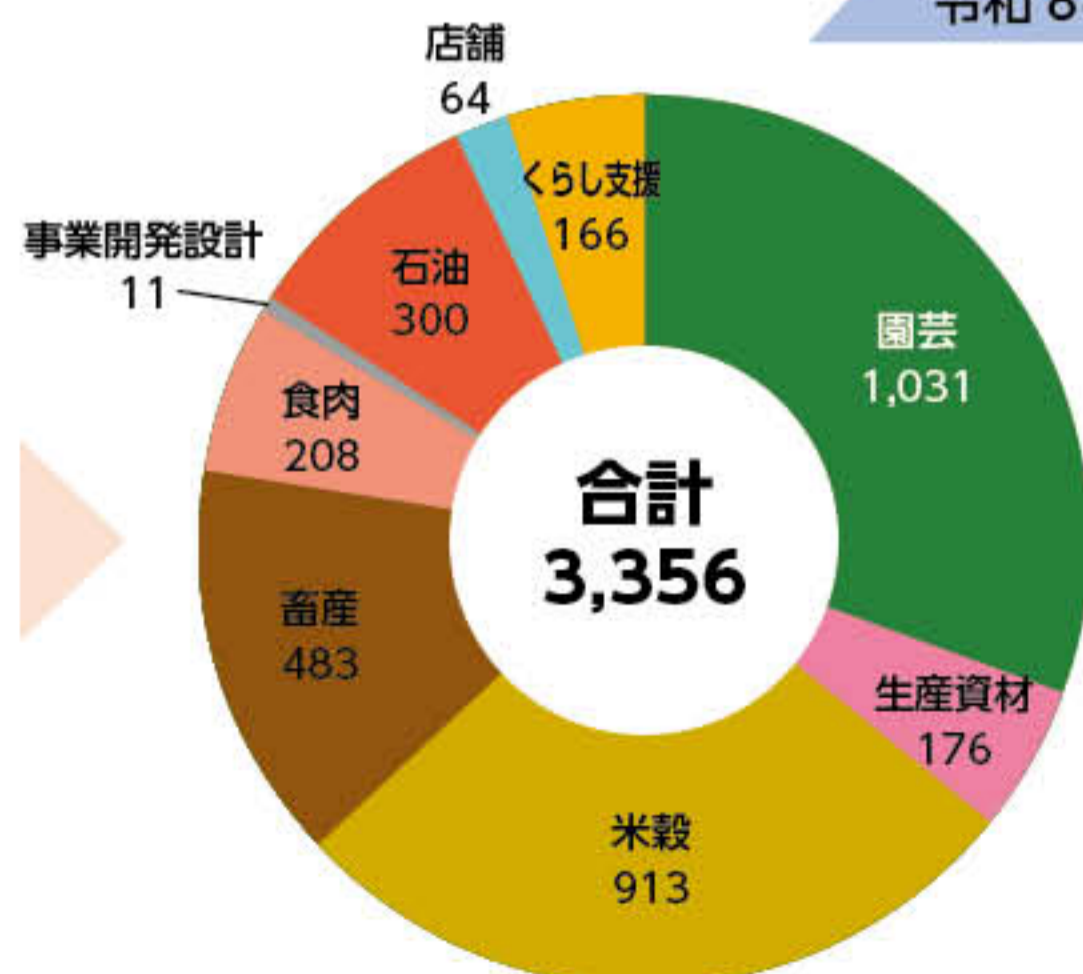
※（ ）内は出身JA名

部門取扱高実績と計画

令和7年度実績



令和8年度計画



（単位：億円）
 ※切り捨て

安全・安心への取り組み

私たちは、安全・安心・新鮮な愛知県産農畜産物を提供するために、生産から供給の過程で、様々な取り組みを行っています。

安全・安心な農畜産物づくり

いきいき愛知

生産された野菜・果物・玄米において節減対象農薬や化学肥料を地域慣行の半分以下に減らした作物を「いきいき愛知」として認証する取り組みを行っています。

衛生検査

JAあいち経済連では、家畜の健康診断を実施し農場の衛生状態を把握・指導しています。そして、出荷される畜産物の安全・安心を確認するため、薬剤残留検査により適宜モニタリングしています。

残留農薬分析

出荷する農産物に残留する農薬が基準値を超えていないか、不適切な農薬が使用されていないかを確認するため、残留農薬分析を行っています。年間約3,000検体の検査を実施し、不適切な農薬が検出された場合などには、原因究明や出荷停止など迅速に対応する仕組みを構築しています。

農業生産工程管理

JAグループ愛知では、農産物の生産工程で使用した農薬や肥料などを記帳する「生産履歴管理」や各生産工程の記録・点検・評価を行う「国際水準GAP」に取り組んでいます。

生産履歴が確かな食料への取り組み

あいちそだち

JAあいち経済連では、お客様が購入した野菜や果物が「どこで、誰が、どうやってつくったのか」を確認できるシステム「あいちそだち」に取り組んでいます。「あいちそだち」は、

- ①JAグループ愛知がすすめる「生産履歴管理」を行っていること
- ②生産者が特定できること
- ③生産情報を開示できること

以上の3条件を満たした青果物のブランドです。



牛肉のトレーサビリティ

JAあいち経済連では、産地（肉牛の生産農家）と一緒においしさづくりに取り組み、さらにミートセンターにおける加工・販売に至るまで、一貫した供給体制を確立しています。また、インターネット上で個体識別番号をもとに、牛肉の生産履歴を確認することができます。

ISO・FSSC 認証の取得

国際規格であるISOの手法を用いて業務を標準化し、品質向上の仕組みづくりや環境に配慮した活動、食品安全の確保に取り組んでいます。

認証取得部署

■ISO9001 品質マネジメントシステム
・畜産部農畜産物衛生研究所

■HACCP (JICQA 仕様)

・食肉部(食肉総合課、名古屋ミートセンター、豊橋ミートセンター、東三河ミートセンター、店舗運営課、惣菜店)

■FSSC22000 食品安全マネジメントシステム

・米穀部食糧販売課
(パールライス安城工場、炊飯加工センター)



園芸部



JAタウンHP

新鮮で安全・安心な本県産の園芸農産物を市場・量販店・加工業者などに販売するとともに、消費者や実需者のニーズに基づき産地・商品づくりをすすめます。

また、農家に苗や出荷資材などを供給し、生産活動を支援します。



生産資材部



肥料&農薬通信



肥料・農薬・農業機械・園芸施設資材などの生産資材の供給や生産指導を通じて、農家組合員の経営安定と安全・安心な農産物の生産をトータルサポートしています。

気候変動などの環境変化に合わせた肥料の開発、農薬の実証試験や施設栽培における栽培管理の最適化など、現場課題の解決に向けてJAと共に取り組んでいます。



営農総合室



ASC HP

- ①農政などに関する情報の収集による農業生産振興策の提案
- ②スマート農業など新たな農業技術の検証と普及
- ③安全・安心で環境に配慮した農業生産の啓発
を柱にJAの営農事業を総合的に支援します。

また、関連施設の営農支援センターでは、生産性向上や生産コスト低減に向けた新技術の実証や新品種展示、各種分析・診断・検定などを行い、農家および産地の支援に努めます。

米穀部



パールライスHP



愛ひとつぶHP

米・麦・大豆の集荷をはじめ、パールライス精米・無洗米・炊飯米・炊飯加工品、関連する商品・サービス・情報の提供を行います。本県産米の消費拡大と豊かな食生活に寄与するとともに、ニーズに基づく生産の支援をします。

フードチェーンに求められる高い衛生管理に取り組み、JA、Aコープ、生協をはじめ量販店、業務用実需者へ安全・安心なパールライスを供給します。



畜産部



みかわ牛HP



ぶたミンHP

畜産農家の経営の安定と所得向上を図ることを使命とし、安全・安心・新鮮な本県産畜産物を販売します。農家へ飼料をはじめとした畜産生産資材の供給と情報の提供を行い、生産活動を支援します。



食肉部

徹底した品質管理のもと安全・安心・良質な若葉ミートをミートセンターで製造し、県下JA店舗をはじめ生協、量販店、精肉店に供給します。さらに、直営店で直接消費者へ販売しています。





事業開発設計室

事業開発では、環境の変化を幅広く捉え、組合員・利用者のニーズに応える生活関連の新たな商品・サービスを各事業と連携して企画・開発します。施設事業では、JA施設の設計監理、米麦・選果プラントの建設などを通じて、地域の暮らしと農業を支える場づくりを担います。



石油部

石油事業では、「マイホームステーション JA-SS」のコンセプトのもと、ガソリン・軽油・灯油などの自動車・生活用燃料を供給するとともに、販売企画の立案や拠点網の整備支援、SSスタッフ教育などの運営支援・指導を行います。また、重油・灯油・免税軽油など営農用燃料の安定供給を通じ、農業生産を支援します。

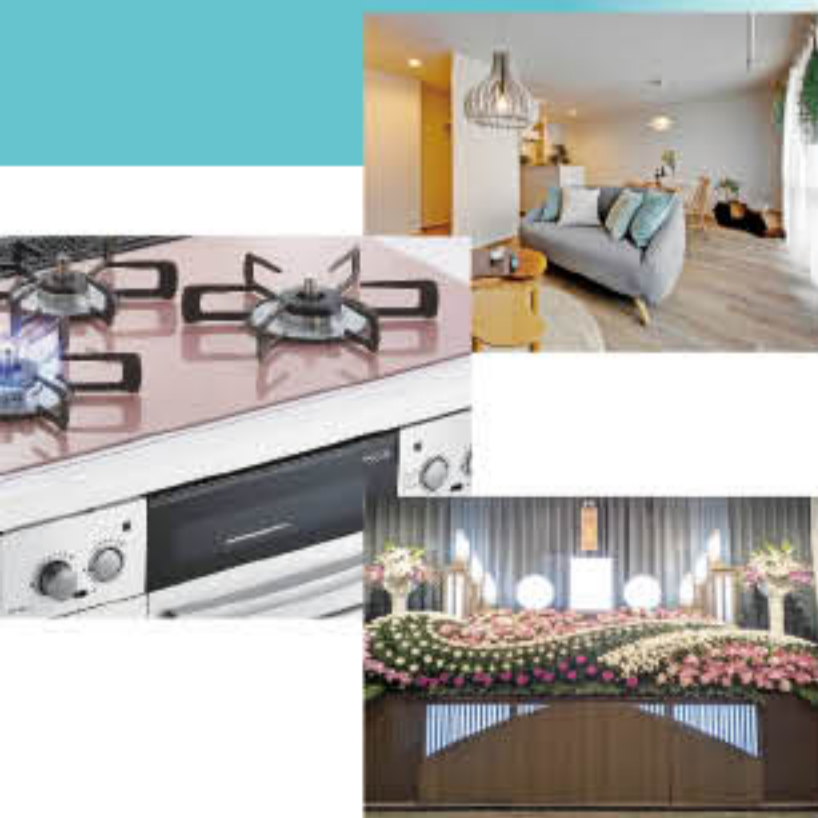


店舗部



A コープ・グリーンセンター・ファーマーズマーケットに対し、店舗運営指導、教育研修、販売企画の立案、商品供給、店舗出店・リニューアルなど店舗開発を支援します。また、愛知県産農畜産物の販売拠点としてのJAらしい店舗づくりと組合員・利用者に支持される売場づくりを支援します。

くらし支援部



くらし支援部は、「組合員の困りごと解決や接点強化」に向けて、くらし支援事業(ホームエネルギー・葬祭・資産管理)を補完する新たな商品・サービスの開発や、JA拠点・出向く体制を活用した総合提案に取り組みます。

ホームエネルギー事業では、LPガス(クミアイプロパン)や電力(JAでんき)等の家庭用エネルギーおよび関連機器による、総合エネルギー提案を通じて、組合員の快適でエコな暮らしを実現します。

葬祭事業では、葬儀返礼品や生花祭壇の提供を通じて、組合員にご満足いただける葬儀を実現します。

資産管理事業では、賃貸住宅(JA賃貸)の建設などの有効活用の提案を行い、賃貸住宅管理では、入居率向上とオーナーの安定経営を目指します。



JA 賃貸
Instagram



JA 葬祭 HP



JA あいち経済連の農畜産物

あいちのいちご

甘さきらめく愛知のいちご



「消費者に早い時期から大きくておいしいいちごを届けたい」という愛知県のいちご産地の要望に応え、愛知県農業総合試験場とJAあいち経済連が約5年かけて開発し、令和5年2月から「愛きらり®️」というブランド名で販売を開始しました。



あいちの米



愛ではぐくむ。
知でみがく。
あいち米

【金のあいち米マーク】5つの基準

- 1 生産者の誇りと愛で育まれた「愛知県産米」
- 2 厳格な審査による「品種の確かな種子」で栽培
- 3 JAの定める「安全・安心な生産基準」で栽培
- 4 「農産物検査」によって品種・等級を証明
- 5 厳しい品質基準を持つ「MOGによる精米」



あいち米
愛ひとつぶ

あいち米の最高峰。甘くてもっちり、白ご飯に おすすめのお米です。



あいち米
山の幻 ミネアサヒ

自然豊かな地域で栽培された、つや・粘りが自慢のお米です。



あいち米
あいちのかおり

あっさりとした粒感のある食感。粒が大きく、輝くようなつやがあるお米です。



あいち米
あいちのころ

あいちのかおりの特徴をベースに、暑さに強い高温への耐性を持った期待のお米です。

あいちの肉



愛知の極上ブランド和牛
みかわ牛

名将徳川家康を生んだ三河の地に生まれ、豊かな愛知の自然の中で丹精に育てられた「みかわ牛」。そのまろやかな舌ざわりとジューシーな肉質は、味わうほどに旨みを増します。



和牛よりもお値打ちな価格でお届けできる
あいち牛

ホルスタイン種（メス）と黒毛和種（オス）を交配した品種で、両親の特徴を受け継いでおり、確かな品質と味わい深い「あいち牛」。やわらかな肉質でありながら、赤身肉本来の旨味が十分堪能できます。



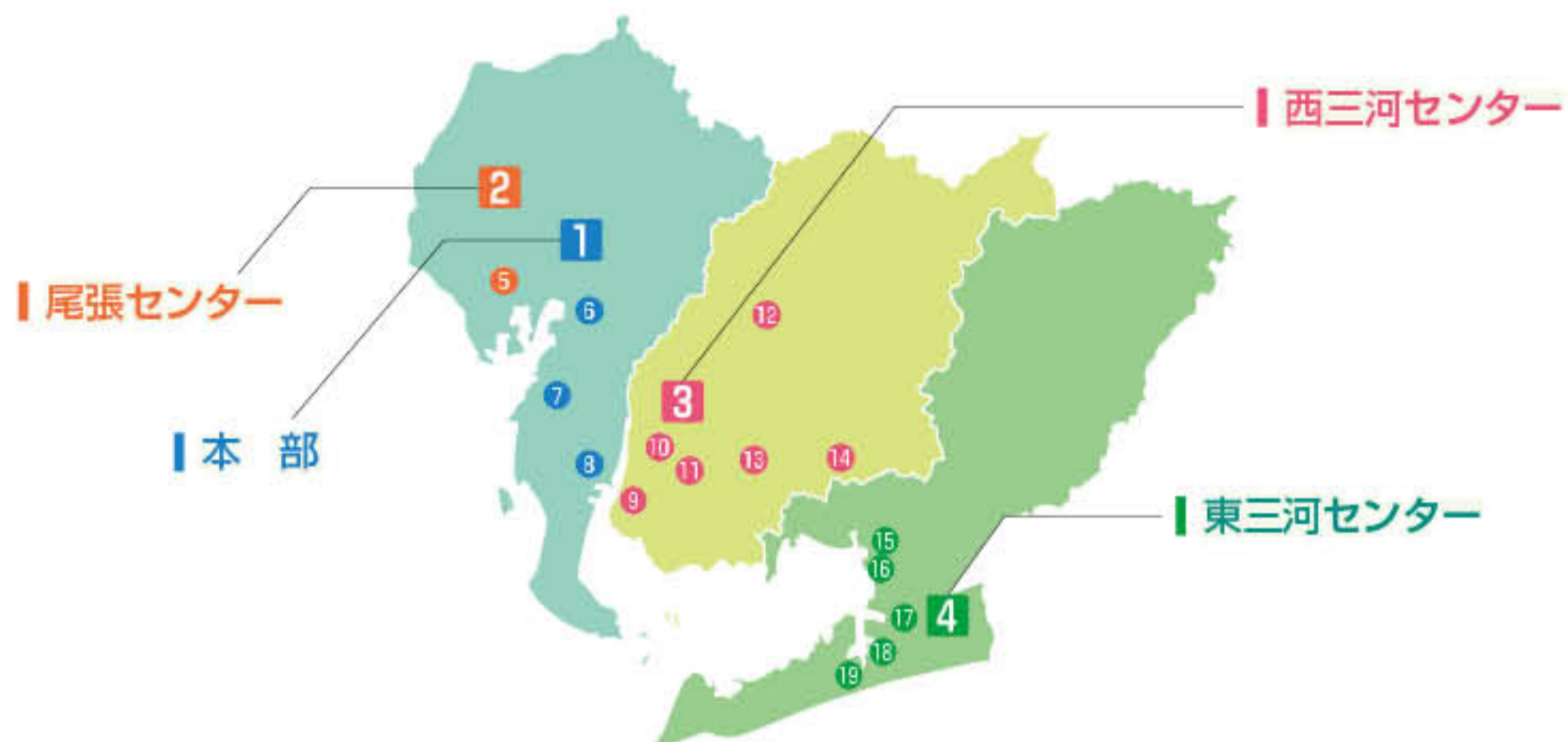
最高の食体験をお約束する
みかわポーク

優良な3品種を交配した三元豚を、決められた飼料で育て、基準に合格したもののみ「みかわポーク」として認定されます。きめ細かな肉質と上質な脂が特徴で、ブランド誕生から30年余り、消費者の皆さんに愛され続けている豚肉です。



おいしさのその先へ
ぶたミン

独自に開発した飼料により、一般的な豚肉には含まれていない「セサミン」が含まれており、更に「ビタミンB1」「ビタミンE」は一般的な豚より多く含まれています。肉質の面においても甘味とクセのない香りを持ち、口どけが良い豚肉となっています。



本部

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-3-8 JA あいちビル 9,10 階 1

内部統制室	TEL(052)951-4105
経営企画部	
企画管理課	TEL(052)951-3630
デジタル推進担当	TEL(052)951-3638
経理課	TEL(052)951-3634
情報システム課	TEL(052)951-3636
総務部	
総務課	TEL(052)951-3633
人事課	TEL(052)951-3632
園芸部	
直販課	TEL(052)680-1307
西部販売課	TEL(052)680-1305
西日本営業所	TEL(052)680-1310
営農総合室	TEL(052)951-3471
生産資材部	
肥料農薬新技術課	TEL(052)951-3627
米穀部	
農産販売課	TEL(052)951-3628
食糧販売課	TEL(052)951-3629

尾張センター

〒481-0037 北名古屋市鍛冶ヶ色端須賀 22-1 2

尾張地域担当	TEL(0568)24-1811
暮らし支援部	
資産相談担当	TEL(0568)54-1000
賃貸管理センター 尾張担当	TEL(0568)25-0311

西三河センター

〒446-8506 安城市今本町東向山 6-1 3

三河地域担当	
西三河地域担当	TEL(0566)96-0911
米穀部	
炊飯加工センター	TEL(0566)97-1611
事業開発設計室	
事業開発担当	TEL(0566)96-0982
設計事務所	TEL(0566)96-0086
石油部	
石油課	TEL(0566)96-0012
店舗部	
店舗総合課	TEL(0566)97-0711
グリーン課	TEL(0566)96-0810
暮らし支援部	
ホームエネルギー課	TEL(0566)96-0013
暮らし支援課	TEL(0566)97-8911
資産管理課	TEL(0566)96-0025
賃貸管理センター 三河担当	TEL(0566)96-0032

東三河センター

〒441-8525 豊橋市西幸町字笠松 111 4

三河地域担当	
東三河地域担当	TEL(0532)47-8200
園芸部	
青果販売課	TEL(0532)47-8225
花き課	TEL(0532)47-8228
種苗包装資材課	TEL(0532)47-8222
生産資材部	
新技術資材担当	TEL(0532)47-8206
畜産部	
畜産課	TEL(0532)47-8232

農業機械総合センター

〒444-1151 安城市村高町藤野元 15 18

生産資材部	
農業機械課	TEL(0566)99-6181

西三河地域青果物パッキングセンター

TEL(0566)93-1811
〒444-1151 安城市村高町藤野元 16-5 18

東三河地域青果物パッキングセンター

TEL(0533)95-1300
〒441-0301 豊川市御津町上佐脇西区 100 15

パールライス安城工場

TEL(0566)79-2985
〒446-0053 安城市高棚町井荒井 3-1 10

食肉部 食肉総合課

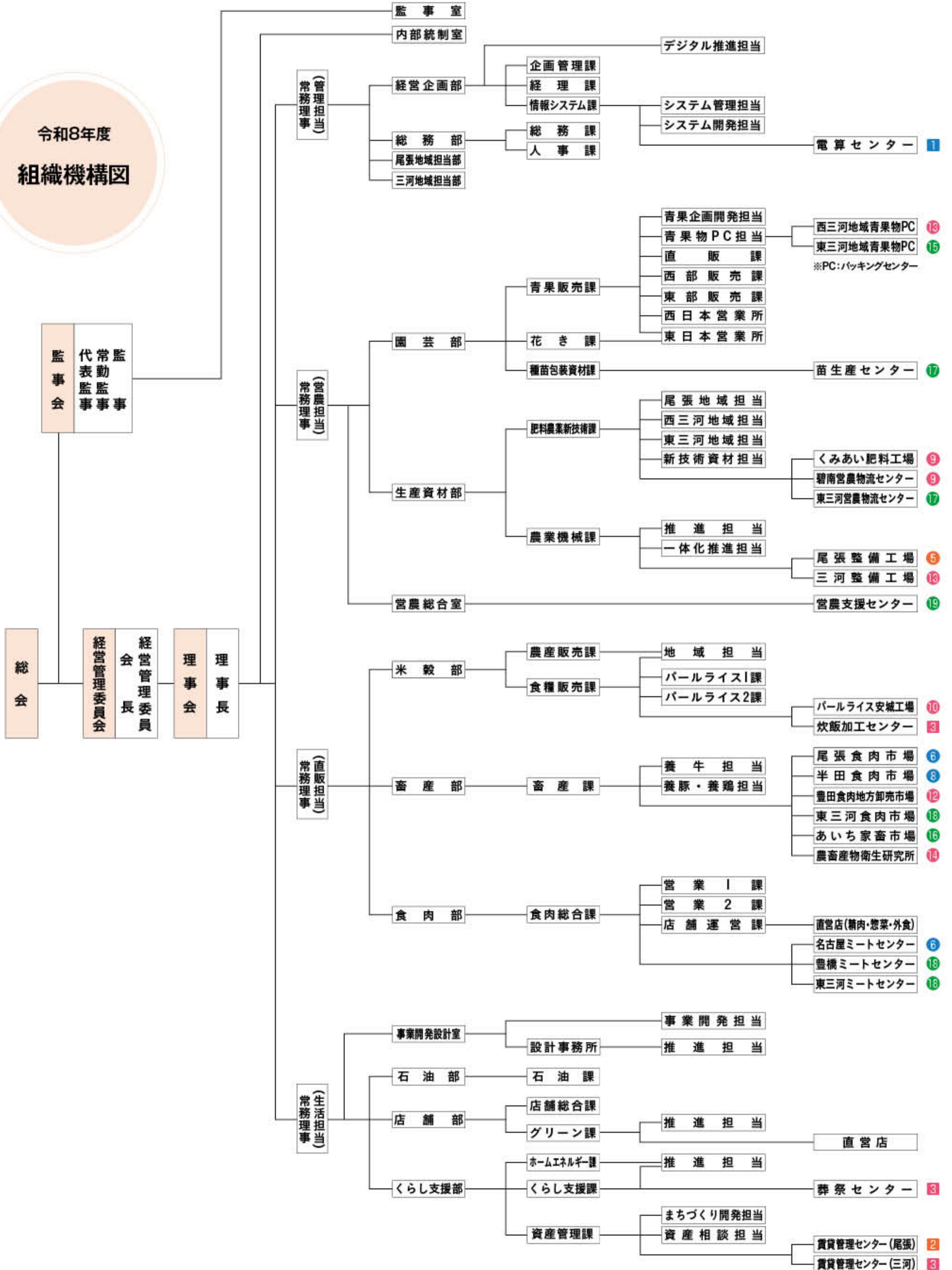
TEL(0532)23-3070
〒441-8074 豊橋市明海町 16-1 株式会社東三河食肉流通センター内 18

関係会社

東海ローディング株式会社	TEL(0566)92-5581
〒446-0052 安城市福釜町下山 23 11	
ジェイエイ・トープス株式会社	TEL(0566)98-2558
〒446-0008 安城市今本町西向山 28 3	
株式会社ジェイエイ東海エッグ	TEL(0568)26-3891
〒481-0037 北名古屋市鍛冶ヶ色端須賀 22-1 2	
株式会社ジェイエイ東三河ジーピーセンター	TEL(0532)37-5811
〒441-8113 豊橋市西幸町字笠松 111 4	
株式会社 JA ハートホームサポート	TEL(0566)96-0041
〒446-0008 安城市今本町東向山 6-1 3	
株式会社 JA あいちエネルギー	TEL(0566)96-0030
〒446-0008 安城市今本町東向山 6-1 3	
JA 全農くみあい飼料株式会社 知多工場	TEL(0562)32-4171
〒478-0046 知多市北浜町 16 7	
株式会社東三河食肉流通センター	TEL(0532)23-2600
〒441-8074 豊橋市明海町 16-1 19	

(令和 8 年 4 月現在)

令和8年度
組織機構図





愛知県経済農業協同組合連合会

〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目3番8号 JAあいちビル内
TEL (052) 951-3633 (代)
<https://www.ja-aichi.or.jp/>



ホームページ



公式X



公式Instagram

